

＜秋季例会報告＞ 上村下栗の植物観察会（170・171回例会）

堤 久・小林正明

第170・171回例会は「伊那谷自然友の会」との共催で、平成15年9月20日（土）～21（日）に、上村下栗の北又渡、ならびにエコライン入り口で行われた。

参加者は林一六会長、安西好弘、越石敏江、河野美恵子、丸山千恵子、戸谷弥生、高野すみ子、佐藤利幸、山口ちか、篠原善運、小久保恭子（鎌倉市）、小口好久、石沢滋子、川上美保子、相場敬子、大塚孝一、大平ユリ、大平仁、竹重聡、中山博子（鎌倉市）、中山溯、田中光江、島野光司、和泉国子、和田清の各氏と伊那谷自然友の会の矢ヶ崎加寿子、矢ヶ崎嘉明、矢ヶ崎嘉代、鈴木栄吉（多治見市）、坂崎順（多治見市）、栗原洋子（大田区）の各氏、そして地元幹事の堤久、小林正明の計33名であった。

第一日目：午後1時迄に、上村下栗の民宿「みやした」「ひなた」に集まり、午後2時、それぞれ車に分乗して北又渡に集合。

林会長の挨拶の後、北又川と遠山川の合流地付近（670m～700m）の溪谷林を道路沿いに観察した。あいにくの雨天で傘を差しての観察であったが、沢、岩場、道端など多様な環境であったためか、多くの種が見られた。

出現した草木は、アカシデ、アキノキリンソウ、アズサ、アズマヤマアザミ、アワブキ、イカリソウ、イタドリ、イタヤカエデ、イチイ、イヌガラシ、イヌシダ、イヌワラビ、イノコヅチ、イワイタチシダ、イワガラミ、イワギボウシ、イワタバコ、イワデンダ、ウチワドコロ、ウツギ、ウリノキ、ウワバミソウ、エゴノキ、エビガライチゴ、オウレンシダ、オオバコ、オトギリソウ、オトコエシ、オニタビラコ、カジノキ、カツラ、ガマズミ、カ

ンスゲ、キハギ、キブシ、キヨタキシダ、クサギ、クサボタン、クジャクシダ、クズ、クマシデ、クマノミズキ、クマヤナギ、クモノスシダ、クロモジ、ケヤキ、コアカソ、コアジサイ、コケシノブ、コゴメウツギ、コゴメヤナギ、コボタンヅル、サルナシ、サワグルミ、サワダツ、サンショウ、シバヤナギ、ジュウモンジシダ、シラネセンキュウ、スズタケ、タイアザミ、ダイモンジソウ、タチツボスミレ、タマアジサイ、タマガワホトトギス、タラノキ、ダンコウバイ、チドリノキ、ツクバネウツギ、ツノハシバミ、ツリフネソウ、ツルウメモドキ、ツルデンダ、テイカカズラ、トオヤマアザミ、ナガオノキシノブ、ナガミノツルキケマン、ニガキ、ニワトコ、ノイバラ、ノコンギク、バイカウツギ、ハクウンボク、ハコネシダ、バッコヤナギ、ヒメウツギ、ヒメトラノオ、ヒメノキシノブ、ヒヨドリバナ、ヒロハツリバナ、ヒロハヤブソテツ、フキ、フサザクラ、フジ、フジアザミ、ホザキフジウツギ、ホトトギス、マタタビ、マメグンパイナウナ、ミズキ、ミズタマソウ、ミズナラ、ミズヒキ、ミツデカエデ、ミツバウツギ、ミツバツツジ、ミヤマシケシダマ、ミヤマタゴボウ、ミヤマハコベ、ミヤマヤシャブシ、ムカゴイラクサ、ムラサキシキブ、メドハギ、メマツヨイグサ、モチツツジ、ヤクシソウ、ヤグルマソウ、ヤブタバコ、ヤブレガサ、ヤマアジサイ、ヤマイタチシダ、ヤマグワ、ヤマハタザオ、ヤマブキ、ヤマブキショウマ、ヤマユリ、ヨモギ、リュウノウギク、リョウブなど。

夕方、4時過ぎに民宿に戻り、夕食をとった後、下栗公民館に集合し研究会を行った。林一六会長、佐藤利幸氏の「井上健先生のこと故死を悼み功績を忍ぶ」挨拶の後、和田清氏が「カムチャッカの植物」、竹重聡氏が「ウロ

コノキシノブについて」、中山洸氏が「絶滅危惧種について」、小林正明が「コウゾリナの開花期からみた2系統」堤久が「獣も食害」などについて発表し研究を深めた。

第2日目：前日に続いて雨天。中間温帯林を観察するという予定を変更し、下栗部落の上、しらびそ峠に通じるエコーライン入口、標高 1050m～1150m 付近の道路沿いを観察した。

出現した種は、アオダモ・アオハダ・アカマツ・アキノキリンソウ・アブラチャン・イタドリ・イヌザンショウ・イスノキ・イヌシダ・イロハモミジ・イワデンダ・ウスノキ・ウリカエデ・ウリハダカエデ・ウワミズクラ・エゴノキ・オウレンシダ・オオモミジ・オカトラノオ・オトコヨウゾメ・カマツカ・ガマズミ・クマシデ・クマワラビ・クリ・ケヤマハンノキ・コアジサイ・コゴメウツギ・コシアブラ・コシオガマ・コバノガマズミ・

コナスビ・コハウチワカエデ・サルトリイバラ・サルナシ・サワフタギ・シラカバ・ズミ・タマアジサイ・タラノキ・ダンコウバイ・ツリガネニンジン・ツリバナ・トウゴクミツバツツジ・ニシキギ・ニシキウツギ・ノリウツギ・ハンゴンソウ・ヒトツバカエデ・ヒメウツギ・フサザクラ・ヘビノネゴザ・ベニヤマザクラ・ホウノキ・マユミ・ミツバアケビ・ミツバツツジ・ミズキ・ミズナラ・ミヤマガマズミ・ミヤマザクラ・メグスリノキ・モチツツジ・ヤマアジサイ・ヤマイトチシダ・ヤマコウバシ・ヤマハタザオ・ヤマハハコ・ヤマボウシ・ヤマブドウ・ヤマヤブソテツ・リュウノウギク・ワラビなど。

雨は降りやまず、予定を速めて昼食を前に現場解散をした。雨雲濃く遠山谷の奥深い景観をお見せできなく甚だ残念であったが、遠路はるばる遠山谷に来ていただき観察や研究会で示された参会者の方々の熱意や誠意に深く感謝したい。



民宿「みやした」の前、(別宿「ひなた」に 10 余人)
この夜、みごとな料理と囲炉裏、雨の天国「下栗」